

障害者雇用で「奨励賞」

越谷 「ポラスシェアード」

ポラスグループの特例子会社の「ポラスシェアード」(越谷市瓦曽根、中内晃次郎代表取締役)がこのほど、「令和2年度障害者雇用職場改善好事例 入賞事業所表彰」で、「奨励賞」を受賞した。独立行政法人「高齢・障害・求職者雇用支援機構」の主催。特例子会社は、厚生労働大臣の認可を受け、障害者雇用率の算定で親会社の一事業所と見なされる子会社のこと。

同表彰は、障害者の雇用管理・環境の改善など他事業所のモデルとなる好事例を募集しており、今回の募集テーマは、「障害者の健康に配慮し安心・安全に働けるように取り組んだ職場・改善好事例」。ポラスシェアードは、本社や最寄駅間との経路を調査して、危険箇所を明らかにする「ヒヤリマップ」を作成したほか、仕事で使う自転車の講習会を実施するなどの対策を実施した。

また、視覚障害社員に配慮し、事務所内のカーペットを色分けして認識しやすくした上、パソコンの個人ブースの開設で遮光するなどの対策が高く評価された。同社の同賞受賞は2018年に続き2回目。

同社は15年4月、越谷市



表彰状を手にするポラスシェアードの社員たち

内初の特例子会社として設立され、ビジネスサポートや「環境計算書」の作成などのほか、名刺作成、契約

書チェックなどを行っている。

鈴木英生・ビジネスサポート課長(52)は「お互いを思いやる職場風土を築き、働きやすい職場環境を実現したい」と話す。

同社は9月15日にも、県

障害者雇用優良事業所表彰「公益社団法人埼玉県雇用開発協会会長賞」を受賞している。同社は随時採用している。

△問い合わせ／ポラスシェアード・ビジネスサポート課 ☎938・0102。